

# 対馬宗家関係資料を修理しました!

長崎県では、令和2年(2020)度から令和6年(2024)度までの5年間の修理を第2期修理事業と位置付け、様々なカテゴリーの資料の修理を実施しています。本年度は、一紙物23点、絵図類4点、日記類2点、記録類7点、計36点の修理を実施しました。

今年度は、日朝間で交わされた公文書(書契) 23点を修理しました。

## 一紙物



令和3年度納品の様子



一紙物の修理は今年度が初めてです。高度な修理技術にご注目ください。

## 絵図類

絵図類の修理では、主に「ふせん」の位置を戻しました。

絵図の内容を一部変更したり修正するために貼られていたふせんを外れて、バラバラになっていました。

バラバラ...



九州国立博物館 保存修復室での調査の様子

36か所のふせんを元の場所に戻しました!



文化庁の調査官の指導を仰ぎながら、様々な調査・分析を基に元の場所に戻しました。

## その他

日記類や記録類も修理しました。



日記類



記録類



(綴じ紐を交換、旧ラベルの除去)



今まで虫害のため開くことができなかった毎日記が読めるようになりました。

### 対馬宗家文書 (各地に合計約12万点)

重要文化財  
対馬宗家関係資料  
(約5万点)

対馬宗家文庫史料  
(対馬に約8万点)

- このほか
- 韓国国史編纂委員会 ……約 28,000点
  - 九州国立博物館 ……約 14,000点
  - 東京大学史料編纂所 ……約 3,000点
  - 国立国会図書館 ……約 1,600点
  - など

### 重要文化財「対馬宗家関係資料」

文書・記録類	46,527点
典籍類	3,338点
絵図・地図類	1,469点
書画・器物類	394点
印章類	218点
合計	51,946点

「日本の宝(日本国民の宝)である「対馬宗家文庫史料」は今も変わらずここ対馬の地で大切に守り伝えられています。

「対馬宗家関係資料」とは

「対馬宗家文庫史料のうち五万点余りは平成(四年)二〇二〇年(二〇二五年)の二回に分けて国の重要文化財に指定されました。

その指定件名が「対馬宗家関係資料」であり、左表の資料群によって構成されています。